

法人名 財団法人 山梨県子牛育成協会

【法人の概要】

代表者名	理事長 遠藤 順也	所管部(局)課	農政部畜産課	
所在地	山梨県北杜市小淵沢町大平10061	電話番号	0551-36-3200	
ホームページURL		E-mailアドレス	yatuboku@io.ocn.ne.jp	
資本金(基本財産)	10,000 千円	設立年月日	昭和52年3月23日	
主な出資者	出資順位	出資者名	出資額	出資比率
	1	山梨県	10,000 千円	100.0 %
	2			
	3			
	4			
	5			
	6			
	7			
	8			
	9			
	10			
その他	団体(者)			
設立目的:	山梨県の子牛の生産、育成を振興し、もって畜産の安定発展に寄与すること。			
経緯概況等:	県営八ヶ岳牧場は、条例に基づき県の肉用牛生産基地として、肉用牛繁殖育成事業を行ってきた。 昭和52年: (財)山梨県子牛育成協会が設立され、協会は県から牧場管理業務の一部を委託された。 昭和60年: 県営八ヶ岳牧場から、県立八ヶ岳牧場と改称し、協会は県から牧場の管理業務を全面委任された。 平成5年: 県立まきば公園と天女山分場整備に伴い、協会は県からまきば公園の管理業務を委託された。 平成12年: 堆肥化処理施設の稼働により、堆肥の販売を開始。 平成13年: 周年預託業務を開始。 平成18年: 県立八ヶ岳牧場、県立まきば公園の指定管理者となっている。			

【主要事業の概要】

事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H17年度	H18年度	H19年度
事業1	県有肉用繁殖牛の飼養、生産子牛の育成及び売却。 農家有家畜(牛・馬)の周年受託業務。 草地等の維持管理業務。農家の巡回調査指導業務。 肉用牛の改良増殖業務。 家畜排泄物処理業務等	245,492	209,555	225,420
事業2	めん羊(サフォーク種)の増殖業務及びふれあい動物の飼養管理。 公園施設、草地、植栽の維持管理。 来園者の対応、各種イベントの開催。	16,583	15,829	15,637
事業3				

【組織】

年度	平成18年度					平成19年度					平成20年度				
	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他	職プロパー	派遣・兼務	県職員	県OB	その他
4月1日現在の人員															
役員	理事(常勤)	1			1	1			1		1			1	
	理事(非常勤)	7		4	3	7		4	3	6	2			4	
	監事(常勤)	0				0					0				
	監事(非常勤)	2		1	1	2		1	1	2	1			1	
	評議員	0				0					0				
計	10	0	5	1	4	10	0	5	1	4	9	0	3	1	5
職員	管理職	2	2			2	2			2	2				
	一般職員	19	19			18	18			19	19				
	臨時職員	1			1	1			1	1			1		
	非常勤職員	0				0				0					
計	22	21	0	0	1	21	20	0	0	1	22	21	0	0	1
プロパー職員の年齢構成(H21.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計		平均年齢	平均年収				
	男性		3	5	10	2		20	役員	※	(千円)				
	女性			1				1	常勤		※				
	合計	0	3	6	10	2	0	21	職員	40	(千円)	5,665			

※常勤役員は、1名のみのため個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
正味財産の状況	基本財産運用益	106	150	150	0
	受取会費	0	0	0	0
	受取寄付金	0	0	0	0
	受託事業収益	264,563	187,337	202,741	15,404
	自主事業収益	0	41,188	42,924	1,736
	受取補助金等	0	2,270	0	△ 2,270
	雑収益	1,004	1,030	1,014	△ 16
	経常収入 計	265,673	231,975	246,829	14,854
	事業費	262,075	225,383	241,057	15,674
	うち人件費	167,607	140,032	146,936	
	管理費	1,430	2,173	1,783	△ 390
	うち人件費	0	0	0	
	経常支出 計	263,505	227,556	242,840	
	当期経常増減額	2,168	4,419	3,989	△ 430
	経常外収入	0	2,488	0	△ 2,488
	経常外支出	0	0	0	0
	当期経常外増減額	0	2,488	0	△ 2,488
当期正味財産増減額	2,168	6,907	3,989	△ 2,918	
正味財産期首残高	27,379	27,059	33,965		
正味財産期末残高	29,546	33,965	37,954	3,989	

(単位:千円)

項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
財務状況	流動資産	127,941	29,277	31,262	1,985
	固定資産	28,756	118,062	101,624	△ 16,438
	資産 計	156,696	147,339	132,886	△ 14,453
	流動負債	18,214	24,067	22,063	△ 2,004
	うち短期借入金	0	0	0	0
	固定負債	108,936	89,306	72,869	△ 16,437
	うち長期借入金	0	0	0	0
	負債 計	127,150	113,373	94,932	△ 18,441
	正味財産	29,546	33,965	37,954	3,989
	うち基本財産への充当額	10,000	10,000	10,000	
うち特定資産への充当額	0	1,111	2,221		

(単位:千円)

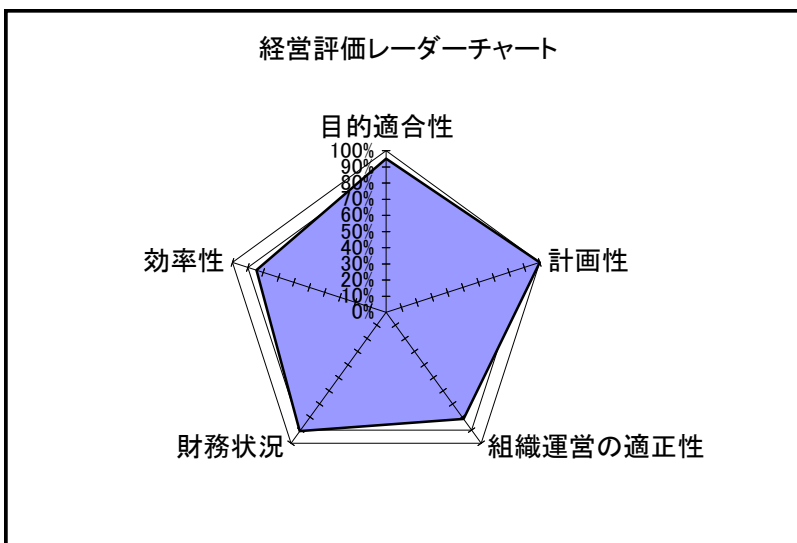
項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
県の財政的関与の状況	負担金	0	0	0	0
	人件費(派遣法)補助金	0	0	0	0
	人件費(派遣法以外)補助金	0	0	0	0
	人件費以外の補助金	0	0	0	0
	運営費補助金	0	0	0	0
	事業費補助金	0	0	0	0
	補助金 計	0	0	0	0
	人件費(派遣法)委託金	10,452	0	0	0
	人件費(派遣法以外)委託金	167,607			0
	人件費以外の委託金	86,504			0
	委託金 計	264,563	187,337	202,741	15,404
	県支出金 計	264,563	187,337	202,741	15,404
	県の財政的関与の割合(%)	99.6	80.8	82.1	1
県貸付金残高	0	0	0	0	
県債務負担実際残高	0	0	0	0	

【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的
補助金 (運営費)	該当なし
補助金 (事業費)	該当なし
委託金	指定管理者制度に基づき、管理委託料が支払われている。
債務負担行為	「県立まきば公園」の管理は3年間、「県立ハヶ岳牧場」の管理は5年間の債務負担行為に基づき管理委託料として執行している。

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	19	95.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	20	100.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	13	81.3%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	40	90.9%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	27	84.4%
合計		33	132	119	90.2%



【警戒指標】

--

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	県立牧場の活用により、農家家畜の受託と肉用牛の生産・売却を行い、畜産農家の経営安定に寄与するとともに、本県の畜産振興をはかるため、指定管理者として基本協定に基づく業務を行い、事業目的の達成に努めた。
計画性	毎年度、事業計画を設定し、経営計画並びに事業運営合理化計画に基づき、より効率的な管理運営と経営の安定を図っている。
組織運営の適正性	平成18年度から指定管理者として管理運営するに伴い、組織、職員数等を見直しており運営は適正に行っている。
財務状況	主要な財源を管理委託料と独自の収入源である利用料収入で充当して運営している。利用料収入は目標額を上回り、支出の削減に努めたことにより経常損益はプラスであった。
効率性	平成18年度から指定管理者として管理運営しており、既に運営方法の効率化は図られているが、より効率的な運営に努める。
総合的評価	利用料は、過去最大利用頭数を基礎としているため確保が厳しい面があるが、目標額を達成することができた。牧場、まきば公園、ともに利用者の多くから満足が得られており事業目的が達成されている。今後は、一層の合理的な協会運営を計画的に進めていく。



対応策	<p>牧場管理業務については、衛生対策の充実と受胎率向上に努め、受託頭数を確保するとともに、資材費高騰に対応すべく徹底したコスト削減を図っていく。</p> <p>公園管理業務については、園内環境の美化とイベントの充実に努め、来園者数を維持する。</p> <p>牧場と公園の連携による効率的な運営と利用者へのサービス向上を図り、情報の積極的開示を推進する。</p> <p>公益法人制度改革に対応できる組織体制の整備を図っていく。</p>
-----	---

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	本県における大家畜の畜産振興を推進するため、県条例並びに当協会設置目的に従って受託事業等を適切に実施している。 本県の畜産振興の推進に寄与していることから、十分適合している。
計画性	年次計画等に基づき策定された中期経営計画により、効率的に組織運営が行われており、今後も適切な管理、運営の継続が見込まれる。
組織運営の適正性	協会の運営は、最小限の役職員で的確かつ効率的に行われており、人事・財務等の内部管理体制も適切に運用されていることから、組織運営は適正である。
財務状況	利用料収入、人件費の抑制等により経常損益は3期連続で黒字となり、収益性が向上しており、安全な経営が行われている。
効率性	人件費の抑制により経営の効率性は高まっている。今後は人件費の抑制だけでなく意識改革を進めることで人材を有効に活用していくことも必要である。
総合的評価	当協会の存在意義、組織体制、財務状況、職員の技術能力や意識水準から総合的に高く評価できる。今後は、より一層の合理的な経営や自主財源の確保に努めていく必要がある。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">目的適合性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">計画性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">組織運営の適正性</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">財務状況</div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;">効率性</div> </div>
総合的所見	<div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="border: 2px solid black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> A (75%~) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> B (60%~75%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> C (50%~60%) </div> <div style="border: 1px dashed black; border-radius: 50%; padding: 10px; text-align: center;"> D (~50%) </div> </div> <p>・平成18年4月から県立八ヶ岳牧場等の指定管理者となり、利用者サービスの向上や経費削減など運営努力を行っている。 ・各評価項目は、平均以上の水準にあり、全体的に見ても概ね健全な経営状況にあるといえる。 ・しかし、収入の9割以上を占める施設管理業務は、非公募型の指定管理であることから、さらなる工夫やコスト縮減、サービス向上など不断の見直しが必要である。 ・さらに、今後、職員の高齢化が進み組織体制の硬直化が想定されることから、職員の意欲向上を図りつつ、人件費総額を抑制する手法や適正規模の組織体制の構築に向けた検討が必須となる。</p>
※ ランク下の%は得点率の範囲	



【総合所見等に対する今後の対応方針】

・本県畜産振興という設置目的に沿って、八ヶ岳牧場の運営管理については、優秀な肉用素牛の売却や、預託牛への受精卵移植等の繁殖に対するサービス向上に努めるとともに、牧場利用料収入の確保を図るために、農家等への「牧場利用のメリット」の周知・PRを徹底し、新規利用者の開拓を行う。
・まきば公園の運営管理については、新たなイベントの計画と、各種イベント内容の充実を図り、来園者へのサービス向上に努める。さらに、今後も、創意工夫・コスト縮減に対する職員の意識向上を図り、健全な経営を続ける。
・職員研修の充実等による資質の向上を図るとともに、退職者の補充に当たっては可能な限り若手職員の採用に努める。